



# ICAN 市民社会フォーラム・プログラム

(2013年2月4日現在)

3月2日(土)	
ランチタイム、マーケットプレイスでの交流の場にもぜひお越し下さい。	
Lobby	9:00 -10:00 受付&コーヒー
	12:00 -14:30 昼食&マーケットプレイス
Main	10:00 -12:00 ▲ ビッグバン
	14:30 -16:30 ▲ 核の人道上的影響
	20:00 ▲ 質疑応答
Cabaret	12:15 -13:15 「平和を保つ唯一の武器」?
Bar	
Disco	22:00 核廃絶パーティー

## ▲ 本会議①: ビッグバン! (10:00-12:00)

### ■核問題の基礎: (パトリシア・ルイス)

恐ろしい爆発、超大国による競争、広島と長崎—もちろん、我々は核兵器についていずれかについては、知っているのかもしれないが、実際は何についてどの程度知っているのだろうか? 核物理学者でもあり、パトリシア・ルイス元国連軍縮研究所所長が、核兵器について様々な事象の背景についてわかりやすく紹介します。

### ■ICANの使命: (レベッカ・ジョンソン)

核兵器の禁止について、アクロナム研究所所長・ICANの共同議長が核兵器を禁止する条約がなぜ急務であり、必要とされているのか。条約をどのように実現していくことができるのかについて語ります。

### ■偉大な挑戦: (TBC)

奴隷制度の廃止、アパルトヘイトの終焉、地雷・クラスター爆弾の禁止条約—。歴史は、私達に熱意、献身さ、明確な目標と良い戦略があれば、本質的で、持続可能な変革をもたらすことができることを証明してきたことについて語ります。

### ■ノルウェーと人道的な軍縮 (グライ・ラルセン、ノルウェー政府外務副大臣)

過去20年間、ノルウェー政府は、人道的な軍縮を推進するためのイニシアチブをとってきた。ラルセン外務副大臣が、ノルウェーの核兵器に対する見解について語ります。

### ■私達にはできる!: (ジョディー・ウィリアムズ、ノーベル平和賞受賞者)

(\* 内容 未発表)

## 🍷 マーケットプレイス (12:00-14:30)

マーケットプレイスでは、ICANのネットワークの多様性を示し、新しくキャンペーンを展開したい方たちへの交流の場を提供いたします。新しいキャンペーンの方々が、ダイナミックなこの場・機会を通じて、核兵器禁止のための行動について、互いに学び、交流を深める場としてほしいと思います。

## ■「平和を保つ唯一の武器」? (12:15-13:15)

核兵器の神話と伝統的な抑止論の議論について話し合います。

モデレーター: スタイン・ルドミー (ノルウェー, 核兵器にNOを!)

パネリスト: ワルド・ウィルソン(作家)、ロバート・グリーン(作家、王室海軍退役司令官)、アンネ・テレ(作家)

## ▲ 本会議②: 核の人道上的影響 (14:30-16:30)

### ■個人的な被爆体験より: 被爆者による体験

核兵器が実際に、市民に対して二回も使用されてきたことを忘れてしまうことは驚くに値しない。

一次被爆を受け、核兵器の影響を直接、体験した二名、セツコ・サーロンさんとシゲコ・ササモリさんに被爆者体験を語っていただきます。

### ■パネル・ディスカッション: 核の人道上的影響

いかなる核兵器の使用においても壊滅的な人道危機の影響を及ぼす。この壊滅的な人道危機の影響とは、何を意味するのか? 核兵器はどのくらいのか。の人を殺戮できてしまうのか。被爆者は、どのような損傷を受けるのか。救援機関・団体は、それらにどのように対処すればよいのか? 我々は、気候・社会経済・農業の分野における影響についてどの程度知っているのか。医療・人道支援・気候研究のそれぞれの分野の専門家が核の人道上的影響について話し合います。

モデレーター: ヘレン・ダルハム (オーストラリア赤十字)

パネリスト: イラ・ヘルファンド (IPPNW)、アラン・ロボック(ルトガース大学)、グリーンピース・インターナショナル

# ICAN 市民社会フォーラム・プログラム

(2013年2月4日現在)

3月3日(日)	
Lobby	12:00-14:30 昼食&マーケットプレイス
Main	10:00-12:00 条約づくり 14:30-16:00 Doing It! ④
Cabaret	12:15-13:15 国際政治における倫理
Bar	
Disco	
Oslo City Hall	* コンサートは3月3日(日)19時からオスロ市庁舎で開催されます。 19:00~ コンサート

## ▲ 本会議③: 条約づくり (10:00-12:00)

■ パネルディスカッション: 条約を通じて国際政治の変革を!  
地球的な諸問題、国際紛争、人権侵害、気候変動、非人道的兵器の使用は、全て国際的な条約の制定で対処されてきました。これらの条約がどのように効力を発揮するのか。また、市民社会が効果的に成功を収めるにはどのようにしたら良いのか。様々な条約づくりのプロセスに関わってきた経験豊富な専門家とキャンペーンに取り組む実践活動家が、新しい法的枠組みの制定を通じて、地球的問題群を解決する戦略について話し合います。

モデレーター: トルブジョン・グラフ・ヒューゴ (ILPI)  
パネリスト: ジョン・ポリー (UNDIR), ビル・ベイス (CICC), イボ・デポール (KPMG), ヴィダー・ヘルゲセン (IDEA), \* 他にも追加パネリストあり

■ 核兵器を禁止する条約をいかに達成していくのか? (リチャード・モイズ、第36条)  
パートナーである第36条とICANインタナショナルの運営委員会であるリチャード・モイズが、核兵器を禁止する新しい条約の制定において、核兵器の問題がどのように条約の中で提起されるのかについて、詳しく説明をします。

## ■ 国際政治における倫理 (12:15-13:15)

2008年にクラスター弾に関する条約の締結後、その使用はほとんどみられることがなくなった。倫理が、軍事の利益を乗り越えたことを物語っている。しかし、いまだ核兵器を禁止する条約は存在していない。核兵器は、市民と兵士を識別することなどできない兵器であり、数百、数千万の人々を数秒で(無差別に)殺戮する兵器であるにも関わらずである。倫理が権力に打ち勝つじれは他にもある。国際政治における倫理はあるのか? 倫理が他の様々な強力な要因に打ち勝つためにはなにが必要なのか。また、我々は将来に向けて、この倫理感をどのように高めていくことができるだろうか。

モデレーター: スティン・ビルムスタッド (平和のための宗教)  
パネリスト: クリストファー・ライデン (哲学者), ジョン神父 (イエズス会牧師・作家), リブ・トゥーレス (ノルウェー・ピープルズ・エイド)  
\* 他にも追加パネリストあり

## ▲ 本会議④: Doing it! (14:30-16:30)

■ 21世紀におけるキャンペーン (スピーカー:TBC)  
今までの10年間、我々は新しい政治的なキャンペーンの形態を目にしてきた。アラブの春しかり、オキュパイ・ウォール・ストリートしかり、である。オバマ大統領の選挙キャンペーンでは、新しい方法、コミュニケーション、政治的な行動で人々を喚起し選挙戦が展開された。国内外のキャンペーンの活動家が政治的な結果をもたらすためには、何が必要かについて話し合います。

■ ベストなキャンペーンとは: (ICANキャンペーナー)  
ICANは60か国以上で展開するキャンペーンのネットワークである。世界中から集った10名のICANのキャンペーナー(活動家)が、それぞれの国で核兵器の禁止条約を実現するために政府へどのような働きかけを行っているのかについて、報告します。

■ 現実にしよう! (ICANインタナショナル運営委員会)  
クラスター爆弾連合の元コーディネーターとICANインタナショナル運営委員会のトーマス・ナシュが、核兵器禁止条約の実現に向けて、我々を喚起してくれるセッションです。

## ✚ コンサート(19:00-)

曲目: "Will this moment ever let go?" は、1945年、長崎と広島で起きた出来事についての日本のアニメ映画、ピカドンから影響を受けて作曲されました。世界中(ノルウェー、デンマーク、アメリカ、オーストラリア、日本)から集う音楽家、歌手、アーティスト、ダンサーたちが心を一つにして舞台上に臨みます。歌詞は、ノルウェーの詩人、ジャン、エリック・ボルドさんによる2つの短編詩から構成されており、できるだけ多くの言語で表現されます。大きなコーラス、4名のダンサーと共に、合奏団はハーブやアコーディオン、モンゴルからの弦楽器など多種から構成され、コンサート会場であるオスロ市庁舎の鐘も演奏に華を添えます。